

令和4年度 甲府市SDGs推進助成金交付決定事業（申請者名50音順）

No	申請者名	事業名	事業内容
1	一般社団法人 ヴァンフォーレススポーツクラブ	アジリティ&ラン	AI技術を活用した解析アプリを導入することにより「姿勢の可視化」を行い、老若男女を対象にしたエクササイズを実施することで市民の健康増進を図る。また、中心市街地エリアでの実施を検討し、健康づくりと併せて徒歩による移動範囲の拡大によるまちなかの回遊性の向上や地域経済の活性化に寄与するだけでなく、参加にあたっての公共交通の利用促進やカーボンニュートラルに向けた参加者の日常における環境意識の向上と行動変容を促す健康づくりを軸とした、経済・社会・環境の三側面を捉えた統合的事業として取り組む。
2	公益財団法人 オイスカ山梨県支部	県産材玩具の開発と普及事業	子どもの教育にかかわる先生方、玩具メーカーや玩具作家等と連携し、山梨県産材を使用した木製玩具を開発するとともに、その普及を図ることで森林資源の活用と整備につなげる。子どもの教育に携わる大人を対象とした木の良さを知る木育スクールを実践することで環境教育を推進する。また、木製玩具等を普及させ、環境保全や地域活性化につなげるため、玩具を製作する背景や玩具の特徴のほか、森や木の文化など思いを伝えるコンセプトブックを製作する。
3	甲府ライオンズクラブ	ライオン寺子屋 (子どもたちへの学習支援など)	教育課程を目指す大学生ボランティアと小中学校の児童生徒の学習支援をマッチングし、子どもたちの教育機会の創出や居場所づくりを行うとともに、大学生の学習指導スキル向上や子どもとの交流を通じた地域とのつながり、地域への愛着醸成を図る。また、学習内容に環境教育などを取り入れ、子どものときからSDGsについて学ぶ機会を創出するとともに、野外活動として、動物園での生物多様性の学習やまちなか等の清掃活動を通じた海洋汚染問題に関する学習など、様々な学習機会の提供と交流事業に取り組む。
4	国際建設株式会社	SDGsの輪を広げます	市内企業のSDGs普及を促進し、環境問題の解決や雇用の創出、地域経済の活性化に貢献するため、PEFC国際森林認証由来の有害物質を含まない安全性を確認した芯を使った17色の色鉛筆を他のパートナー企業との連携により製作し、教育機関や福祉施設等に配布することで、SDGsの普及啓発や取り組みの輪の拡大につなげる。
5	株式会社セイビドー	セイビドーSDGs推進活動	不要になったメガネや補聴器を店頭にて回収するとともに、ホームページにおいて、SDGsの特設ページを開設し、SDGsの啓発に向けた取組を進めるほか、回収したメガネや補聴器を各種団体等を通して寄付を行うことで、それらを必要とする人々の健康と福祉の充実に貢献するとともに、資源を大切にす循環型の経済活動とプラスチックごみの排出量を削減することによる、環境保全にも貢献する。

令和4年度 甲府市SDGs推進助成金交付決定事業（申請者名50音順）

No	申請者名	事業名	事業内容
6	常盤通り名店街協同組合 (ダイヤコリド名店街)	ダイヤコリドSDGs啓発プロジェクト	商店街や地域を通じた未来を考えるきっかけづくりとして、地産食材を使ったフードマイレージやフードロス、リサイクルやリユースについて考える様々なSDGs企画を実施するほか、マルシェの中でSDGsや地域課題解決に取り組む学生へ社会課題解決の試みの発表の場の提供や情報発信の支援など、各店舗の専門性を活かした支援を実施する。さらに、地域のお祭りとも連動させたイベントや文化活動を行うことで、SDGsの普及啓発と商店街や地域の経済効果も誘導していく。
7	株式会社日本ネットワークサービス	甲府駅北口広場向け公衆無線LAN環境の更新	地域貢献で設置したアシストエンジニアリングよっちゃばれ広場の公衆無線LAN用設備の更新に加え、利用可能範囲を災害時の指定避難地に指定されている甲府市歴史公園まで拡大することで、快適かつ安心・安全に資する公衆無線LAN環境の更なる整備を推進し、自然災害等に対するインフラの強靱化を図るとともに、観光客の利便性向上やイベント等での利用を可能とすることで、地域経済の活性化にも寄与することを目指す。
8	特定非営利活動法人 マイプラ対策室	木材加工による脱プラスチック代替 製品の開発・作成	市内の未活用の学校林や市有林、森林管理を推進するFSC認証の県産木材を利用したプラスチックの代替製品を開発・作成し、脱プラスチックをはじめとする環境問題に対する意識醸成と、森林及び海の環境保全を目指す。また、製品の作成過程では、障がい者就労支援事業所と連携することにより、雇用の促進を図るとともに、障がい者支援といった共生社会への効果も創出する。
9	認定特定非営利活動法人 未来の荒川をつくる会	荒川の清流を守り、海洋汚染防止にも貢献する河川清掃と啓発活動	荒川の河川清掃を通じて海洋汚染の元凶となっている河川のごみ問題の解決につなげるとともに、幼い頃からの清掃活動等を通して美化意識の啓発を継続的に実施することで、荒川流域の環境保全や、人と自然と地域が共生できる社会の構築を目指す。また、次世代教育に向けた更なる実践として、河川から海に流れ出ているマイクロプラスチックの生態系や人体への悪影響を学ぶ機会を創出し、環境教育の場を提供するほか、他団体等との連携・協力事業として、ボランティア講師の派遣を行い、取組の輪の拡大を図っていく。
10	公益財団法人 山梨YMCA	甲府市中心市街地清掃イベント 「清走中甲府編」	「清走中甲府編」として、ごみ拾いとエンターテイメントをかけ合わせた「楽しさ」を動機とした住民参加型のゲーム感覚ごみ拾いイベントを実施し、世界を取り巻くごみ問題に課題意識をもって取り組む人材を増やす。また、商店街や外国籍住民、若者など多様な背景を持つ人々が連携し、中心街のごみゼロ運動を啓発・実践し、持続的に住み続けられるまちづくりを具現化する場をつくることとともに、こうした取組により、SDGsのゴール達成のプロセス自体が地域づくりにつながる「人づくり、まちづくり」のプラットフォームの構築を目指す。